

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)モントーレ花畑	階数	地上8F
建設地	福岡県福岡市南区花畑4丁目296-4	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、第1種低層住居専	平均居住人員	464 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年5月20日
敷地面積	6,932 m ²	作成者	樺島 正喜
建築面積	2,284 m ²	確認日	2016年5月20日
延床面積	11,021 m ²	確認者	樺島 正喜



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 教育期間も近く、子育ても安心な環境に立地し、省エネルギー等級4を確保した建築物の環境性能を高めることにより環境に配慮している。		0
Q1 室内環境 開口部は開口部遮音性能の高いものを採用し、外部の騒音の侵入を防いでいる。建材はF☆☆☆☆を採用し、室内空気質を健全に保つように配慮している。	Q2 サービス性能 100Mbitクラスのブロードバンド利用可能であり、配管材は耐用年数の長いものを採用している。通信・情報手段の多様化を図り、精密機械の地下空間への設置回避をしている。	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・塀等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和しており、周辺のまちなみや景観に対して、標準的な配慮が行われている。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4に相当とし、建物の熱負荷抑制をしている。高効率な設備器具を採用し、一次エネルギー消費率が90%以下(低炭素基準相当)としている。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を用いる等水資源に配慮している。内装材と設備が鉛緑せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外すことができる	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して50%以下であり、地球温暖化への配慮がなされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される